

ピアホームだより

2019. 5.10

第 47 回交流会から

4月21日、いつものように渋谷区総合ケアコミュニティせせらぎにて第47回目の「交流会」が行われました。今回も、午前参加者からの質問と回答、午後は千葉信子さんによる「看護小規模多機能型居宅介護」の講演がありました。

その中から私がこれと思った事柄をいくつか報告したいと思います。

<質疑応答から>

1 妄想のひどい精神障害者との家族はどう対応して行ったらいいのか？良い本なども紹介してほしい。

回答) ピアホームだよりでも何回か紹介しましたが、中村ユキ画 高森信子監修マンガでわかる統合失調症 家族の対応編を紹介しました。

その神髄は障がい者の気持ちを理解し寄り添うという事にあると思います。家族研

究に携わりこの本の作成に関わった向川原さんからも、斉藤環のひきこもりの本の紹介を頂きながら、とことん聞くという事の大事さをお話し頂きました。

白石先生からは、傾聴の大事さが言うまでもないことですが、限界があります。共倒れにならないというあたりが目標になるのではとの極めて現実的で実践に富んだ回答がありました。

そうですね！使命に燃えてしまうと限界を超えてしまいがちです。真のプロはわかまえるところなのではないでしょうか！？

2 統合失調症患者の不眠治療における眠剤の使い方

不眠は原発性不眠と2次性不眠に分けられるようです。眠剤は

① 脳の活動を鎮めるもの

ベンゾジアゼピン系など

② 睡眠・覚醒のリズムを整える

メラトニン受容体刺激薬

③ 過剰な覚醒状態を抑える

オレキシン受容体遮断 (ベルソムラ)

に分類され、原発性不眠のみを対象としており、添付文書的にも統合失調症のよう

な内部に不安を抱えた患者が対象になることを想定していないと思います。

しかし、実際の臨床の場では... ?

いずれにしても、不眠の理由を考えることが第一です。うつ状態になっているとすると抗うつ薬も考慮されるとのことでした。鎮静剤を増やして睡眠をとる方向で解決に向かっています。

看護小規模多機能型居宅介護（かんたき）とは？

ご自宅での暮らしを続けて頂くため、通い・宿泊・訪問介護・訪問看護のサービスを本人、家族の要望に合わせて利用できる事業です。介護と看護の一体的なサービスの提供により要介護者の方、医療ニーズの高い方、ターミナル期の方等の本人・家族を支援するサービスです。

概ね各自治体にあるようです。1. その自治体の住民 2. 65歳以上 3. 介護保険認定を受けていて要介護1以上の方が対象です。

今月の予定

<5月25日>アドボケイト会総会

